

mt178、mt182、mt188シリーズのバッテリーに関する注意

弊社モバイルシンククライアント製品のmt178、mt182、mt188のシリーズは、リチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーはエネルギー密度が高く高性能ですが、バッテリーの寿命、充電サイクルの数、高温の露出の原因によって膨張することがあります。万が一バッテリーが膨張したとしても、難燃性部品を使用しているため、発火等の危険性はございません。なお、過放電などには注意が必要となります。過放電は概ね2~3ヶ月以上使用せず保管した場合に発生する恐れがあります。

例え製品を使用していなくても、バッテリーの充電残量は機器への装着/非装着関係無く自然に減っていきます。充電残量が0%になり、期間が長くなるほど過放電となる可能性は高まり、充電ができなくなったり、バッテリーが膨張する等の症状が個体によっては現れます。もしこれらの症状が現れた場合は速やかに使用を中止し、販売代理店サポート窓口までご連絡ください。長期保管する場合は「予めバッテリーを満充電しておく」「1ヶ月に一度は再充電する」の対処をお願いいたします。また使用中であってもOSでバッテリー低下を知らせるアラート(ポップアップ等)が出た場合は、できるだけ速やかに充電するようお願いいたします。

出荷時の対策として、弊社ではmt178、mt182、及びmt188シリーズの出荷時にバッテリーモードを「出荷モード」に設定しています。出荷モードとはバッテリーをスリープ状態にして自然放電を抑制する設定で、通電する事で通常の使用モードとなります。

初回使用時は下記手順に従います。

1. バッテリーを装着(mt178シリーズの場合)し、付属ACアダプターで電源コンセントと接続します。
2. バッテリー充電ランプの点灯を確認します。

mt178シリーズ



mt182シリーズ



mt188シリーズ



3. 電源ボタンを押し、起動します。

初回はこの手順を必ず実施してください。上記手順を経ずに(通電せずに)バッテリーのみで起動する事はできません。また、出荷モードであっても自然放電は起こるため、2ヶ月以上保管される場合は充電を行うようお願いいたします。